

令和5年10月23日（月）（R5第29号）

すっかり涼しくなりました。まさに秋です。半袖で登校する子は減り、上着を羽織る子が増えてきました。中にはポケットに手を入れて登校する子もいます。「転んだら危ないから手を出しなさい。」と優しく（？）声をかけています。

朝、私があいさつをしているとき、6年生は一生懸命に陸上の練習に取り組んでいます。練習を重ねた結果、フォームがよくなり、スピードに乗って走ることができています。リズムよく跳んだり、力強く遠くに投げたり、力強く踏み切ったりと目に見える子どもたちの成長をうれしく思います。

今日（10月23日）の昼休みに、陸上大会に向けて代表選手の壮行会を行いました。

企画は5年生。司会や応援団などよく頑張りました。

選手は全校の前に堂々と立ち、種目ごとに演技を披露してくれました。スピードのある走り、リズムのよいハードリング、放物線を描くソフトボール、踏切のあとの高いジャンプなど、さすが選手。すばらしかったです。

以下は壮行会での私の話です。

壮行会の企画ありがとう5年生。6年生と一緒に練習して、学べたことがたくさんあったはずですね。ぜひ、来年に活かしてください。

次に、練習に参加したけど、残念ながら、選手に選ばれなかった君へ。君がいたから、選手になった人たちも負けないように頑張れたと思います。ありがとう。でも、悔しいよね。この後、球技大会に向けての練習がります。次こそレギュラー目指してがんばってください。

そして、1～6年生の皆さん。大きな声での応援素晴らしかった。君たちの声が、陸上大会当日の選手に勇気を与えてくれます。選手は、試合当日少し不安になったり、緊張したりするのです。例えば高跳び。普段は飛んでいる高さでも、なんだか高く見えるのです。そん

な時、応援されたことを思い出すと、「大丈夫。絶対跳べる。」って、思えるはずです。

最後に選手になった皆さん。毎日頑張ってきた努力が実って、選手になれてよかったですね。素晴らしい陸上競技場で、自己記録の更新を目指してください。そして同じ6年生だけどすごい子がいることも観てきてください。

練習の成果を生かして、思い切り力を発揮することを期待します。がんばれ、松小の選手たち。